

# 慶友塾通信

平成28年9月号



勉強でも部活でも何でもよいので、「もしもこうなったら嬉しいな」と思えること。 そのために日々できそうなことは、なんですか。 それを出来る限り日々継続する。 続ければ続けるほど楽になります。

## よい成績だったことを 思い出そう 必勝パターンをつかもう

高校生や深谷の中学生は10月に定期テストがありますね。1学期により成績を取った科目は、「あ、前回より点数上がった♪」、「こんな点数とれちゃった♪」などその時の気分を思い出して下さい。またその気分を味わいたいですよね。その勉強方法を思い出して下さい。また今の日常とチェックしてみてください。特に、日本史や世界史など社会の点数が上がった生徒、英語の点数が上がった生徒は、**テストの1カ月前位からテストまでコツコツ自分が何を頑張ったのか**思い出しましょう。それがあなたの必勝パターンです。

## 英語:例文を書けるようにする 例文の音読と暗記

テキストの赤字の例文を繰り返し音読。

さらに書けるように暗記しましょう。

ポイントは赤シートで隠れるパターンを意識すること。

### 繰り返すと

復習のスピードが上がる。

復習が簡単にできる。

さらに記憶が定着する。

## 九九のようになるまで

では、どの位繰り返せばよいのでしょうか？

3×6(さぶろく)と聞けば18と直ぐに言えるでしょう。

日本語を見たら、直ぐに例文が言える。

このレベルまで繰り返すと、英語がスゴイことになりますよ。

## 丁寧に振り返る

北辰テスト、課題テストや定期テストが終わり、答案用紙が返却されていると思います。

つい、「点数が上がった、下がった」で一喜一憂しがちですが、自分の答案用紙を丁寧に見ていくと色々なことが分かります。

国語：前よりも要約の問題が書けるようになった。

数学：計算問題だけみると正答率が上がった。

塾で勉強した文章題は解けた。

社会：苦手だった飛鳥や奈良時代の問題ができた。

理科：夏休みに勉強した電気の問題が解けた。

英語：時間内に全ての長文問題が終わった。

英文法の問題なら90%できた。

色々、成果が出ているところは、あるはずです。

「点数が下がった。」、「頑張ったけど駄目だった。」と落ち込んでいる生徒さんは、私に答案用紙を見せて下さい。

必ず、希望の光はあります。

## いい気分を味わう

「テストでいい点取りたいな〜」と思っている生徒は多いでしょう。

イメージの仕方、想像の仕方は

「もし、テストでいい点を取ったらどんな気分？」ともしそうだったと仮定してどんな気持ちになるのか想像してみてください。

教室をイメージして、先生からテストを渡され、それが80点ならどんな気分なのか？

ちょっと想像してみてください。

## 慶友塾

熊谷市新堀24-1 ミケーニア301

TEL 048-538-8616

## 時と国境を越えた友好

今年は、各教科の教科書が新しくなりました。英語の教科書サンシャインの中2用に日本とトルコの友好の話が掲載されています。とてもよい話なので、ここでご紹介させていただきます。

1980年イラン・イラク戦争がはじまりました。戦争は終わらず、そして1985年、イラクが突然「3月20日午前2時以降、イラン上空を飛ぶすべての航空機を撃墜する」という声明を出しました。イランの首都テヘランには、日本の会社も多く、日本人もいました。その時刻が迫った時、215人の日本人がテヘラン空港におり、彼らはすぐにもイランを出発したいと思っていました。日本航空は、救援のための旅客機を準備したのですが、日本の外務省とイランの日本大使館との打ち合わせが遅れ、日本航空は「帰る際の安全が保障されない」との理由でテヘランに飛ぶのを断りました。空港にいた日本人は、慌て始めました。その時、2機の飛行機が日本人達を助けるために現れました。それらはトルコから来たのです。日本人は全員その飛行機に乗り込み日本に向けて出発しました。それは最終期限の直前のことでした。

なぜ、日本人達を助ける為にトルコの飛行機が来たのでしょうか。

サンシャインには、「トルコでは多くの人々が次の様な話を教科書で読んで知っています。」と書かれ話が進みます。

1890年に一隻の船がトルコから日本にやってきました。その船は日本への友好親善の旅行中でした。帰国途中で、和歌山の沿岸沖で強い台風にあい、岩礁などに衝突してくだけ587人のトルコ人が亡くなりました。和歌山県の漁村(串本町)の人々は69人のトルコ人を救助しました。村人たちは台風のためにあまり食べ物を持っていませんでした。しかし、彼らは自分達の最後に残った鶏肉をトルコの人たちにあげました。彼らはまた亡くなった人達を埋葬しました。

1カ月後、トルコの人たちは日本の2隻の船に乗って母国に向けて出発し、無事帰国することができました。

串本町観光協会のホームページには、1985年当時の駐日トルコ大使のネジアティ・ウトカン氏の言葉が紹介されています。「1890年の事故に際して、日本人がなして下さった献身的な救助活動を、今もトルコの人たちは忘れていません。私も小学生の頃、歴史教科書で学びました。トルコでは子どもたちでさえ、知っています。今の日本人が知らないだけです。それで、テヘランで困っている日本人を助けようと、トルコ航空機が飛んだのです。」

サンシャインには最後にもし私たちがこのような努力をつづけたら世界はよりよい場所になるでしょう。と書かれています。

## 成績アップ！！！！

中学、高校の課題テストや定期テストの結果です。

☆☆☆ 90点以上☆☆☆  
高2 TM君 数学課題テスト 91点

☆☆☆ 80点以上☆☆☆  
高2 TM君 国語課題テスト 83点  
中2 OE君 英語定期テスト 82点

## 合格おめでとう！！！！

夏休みに全商英検2級の勉強をコツコツ取り組んできたTY君が見事合格しました。おめでとうございます。過去問の長文英語がうまく訳せないなど、色々あせったりしたと思うのですが、そういった苦しい状況でも、勉強を続けることができた、それが素晴らしいと思います。

## つまらない本は途中で 投げ出してもかまわない たとえ、岸田先生に 勧められたとしても

夏休みから中学生や高校生に興味を持てそうな本を貸しています。

ところが、申し訳なさそうに、「途中で飽きてしまい、最後まで読めませんでした。」「興味を持てなかったところは、飛ばしてしまいました。」と言いながら本を返す生徒さんがいます。もともと性格が真面目なのでしょう。

以前、塾通信で読者の権利というものをご紹介しました。私は、「子どもの時に知りたかった！」と思いました。

「子どもが読書に夢中になる魔法の授業」の著者ドナリン・ミラーさん(小学校の先生)は、著書の中で生徒たちに自分の体験を話します。

「100ページまで読んだけど、全然入りこめない。読書会の他の人たちはすごく面白いて言っているし、色々な賞を受賞している話題の本なのよ。それなのに、どうしてもつまらなくて。

結局、読むのをあきらめちゃった」と。

本を手にするのも自由なら、期待はずれだった時に投げ出すのも自由なのです。



## やりたいことは伝えよう 聞いてみると道が開ける

中3のN君は接客業に興味を持っているので、私は高校に行ったらオシャレなカフェでアルバイトをすると質の高い接客の勉強になるよ」と話すと、N君も「バイトしてみたいです。」とやる気のある返事。

こ籠原駅のTULLY'S COFFEEに行く機会があったので、注文する際に「ここは、高校生もアルバイトできるのですか？」と聞くと「アルバイトできるのですが、高3からなんです。私も3年生です。」と丁寧に教えてくれました。

中3のN君からすると、高3は遙か先のことに感じてしまうでしょう。そう思うとちょっと残念な気持ちになっていたのですが、注文したカフェオレを待っている時にマネージャーさんらしき人がいたので、もう一度同じことを聞いてみると「はい、高校生は高3からとなっております。

ただ、接客態度がしっかりしているなど意識が高ければ高校1年生からでもアルバイトすることは可能です」と話してくれました。それを聞いて私は嬉しくなったので、N君の日常での受け答えがとてもしっかりしていること、きちんと相手の目を見て話すこと、ハキハキした態度などを説明しました。マネージャーさん

もN君に興味を持ってくれたようで、「それでしたら、高校生になり、その生徒さんがうちに興味があれば、面接いたしますので、是非お声掛けください」とよい返事をもらうことができました。

こんな体験をすると、ちょっとしたことって大事だなと思うのです。

塾の雑談の中で、N君は接客に興味があること、やってみたい気持ちを話してくれました。これを聞いていたので、私はTULLY'S COFFEEでアルバイトの話をしたのです。

また、最初に聞いたアルバイトの人の話で「ああ、そうか」と諦めていたら、マネージャーさんからの話を聞くことができなかつたでしょう。もしかしたらと思い、ちょっとマネージャーさんに聞いてみた。そしたら、よい話が聞けたわけです。

こんなことで、人生よい方向や進みたい方向に変わっていくのかなと思います。

自分の将来の夢、やってみたいこと、チャレンジしたいこと、また、身近な生活の中で頑張りたいことなど、うまくいくといいなと感じていることなど話してみてください。

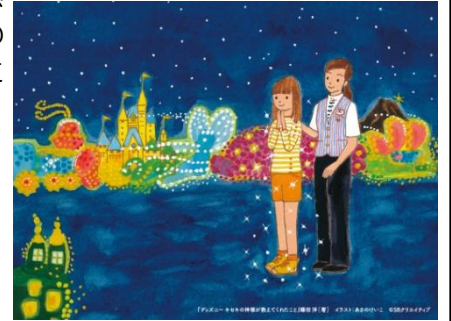
私に話すと、聞いたその瞬間から「その子の為に何ができるのか」と考え始めます。



## ディズニーの神様シリーズ 中高生にお勧め

6月号で、Sさんの素敵なセンスと一緒に鎌田洋さんの著書「ディズニーの神様」シリーズをご紹介したのですが、夏期講習中の休憩時間に中学生、高校生に読んでもらおうと思い、図書館から5冊借りたところ、とても好評で全て読んでしまった生徒もいたほどでした。

どれも心温まる話で、さらにビジネスに対する心構えも自然に学べますので、中高生にお勧めです。



## ご紹介制度のご案内

当塾では折り込み広告なども行っておりますが、やはり大切な在校生の方々からのご紹介を何よりも優先したいと考えております。

ご紹介いただいた方には、お礼として図書カード2,000円分を進呈させていただきますので、ご希望の方がいらっしゃいましたら、同封のご紹介カードを是非ご利用下さい。

## 編集後記

人工知能の驚異的な進歩について以前から塾通信に書こうか、書くまいか迷っていました。迷っていた理由は、答えがないからです。知り合いの塾の先生は、高校生と保護者様との面談時には、必ず話すと仰ってました。また、私立高校の説明会でも各高校の校長先生が話されているようです。

今年の3月、囲碁のプロ棋士（元世界ランク1位）が1勝4敗で負け越した時は、本当にびっくりしました。人工知能の強くなるスピードが速すぎると感じました。人工知能などコンピューター技術によって今後10年～20年で、47%の仕事が自動化されるということです。そんな時代に向けて、子ども達に何を伝えていけばいいのか。一人の時、他の先生に会う時、つい話題にしてしまいます。

## 慶友塾

熊谷市新堀24-1 ミケーニア301

TEL 048-538-8616